

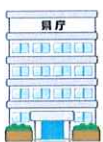


農業農政等に関する知事へ要望書提出(県政クラブ)

▶県議会 2月定例会が閉会! 新年度予算案を再提案し可決!! 予算不成立は回避!!

県議会 2月定例会が3月17日に閉会致しました。令和3年度2月補正予算については、まん延防止等重点措置区域内において営業時間の短縮要請にご協力いただいた飲食店等の事業者への協力金を計上するほか新型コロナウイルス対応のための経費を増額。

また、政府の補正予算への対応として、防災・減災、国土強靱化などの公共事業等を追加。併せて、今冬の降雪状況を踏まえて道路除雪費を増額しました。



また、県は新年度の一般会計当初予算案として総額6,849億1,200万円を県議会に内示しておりましたが、果樹王国情報発信拠点の施設整備事業費について、「基本構想」が示されてこなかったなどの事由により、農林水産常任委員会で集中審議がなされました。県側から3月11日の予算案採決日に「**予算の見直しを検討する**」と発言があり、定例会中の予算案採決に影響を及ぼしました。

今回、県議会に提出された議第29号「令和4年度山形県一般会計予算」は、「**やまがたの農林水産物を活用した情報発信推進事業費**」の事業内容(1億779万6千円を削除)を見直すために議案の撤回を行い、3月15日の本会議において再提案し、各常任委員会の審査を経て本会議で可決されました。

▶県当初予算案総額 6,848 億 420 万円!!

「**コロナ克服・やまがた新生予算**」! 2年連続 6,500 億円超!

山形県の令和4年度当初予算総額は6,848億420万4千円です。前年度当初に比べ0.4%増となりました。当初予算の推移を見ると6,500億円を超えるのは**2年連続**です。

東北6県の予算規模では、福島県が12,677億円、続いて宮城県、岩手県、青森県、**山形県**、秋田県5,886億円の順になっています。

明るい未来の創造に向けて

山形県議会議員(鶴岡市選挙区) 県政レポート No.12

じゅん

山形県議会議員 **高橋 淳**(無所属/県政クラブ)

<高橋淳事務所> 発行日:令和4年3月18日

〒999-7601 鶴岡市藤島字古楯跡 100-1

TEL:0235-26-8731/FAX:0235-26-8732

Mail:takahashi.jun.kouenkai@gmail.com

<県議会/県政クラブ執務室>

TEL:023-630-3211(4階)

<県議会/所属委員>

◎常任委員会「文教公安常任委員会(委員長)」

▶福島県沖を震源とする地震災害!!3/16

3月16日の午後11時36分頃、福島県沖を震源とする大きな地震が発生いたしました。

山形県でも午前1時30分(深夜)に福島県沖を震源とする地震に係る「災害対策本部」を設置し、人的被害状況、避難所、ライフライン、道路、鉄道、航空機、バス、農林水産関係、文教、医療施設などの被害状況の情報収集を図っています。今後の余震に十分ご注意ください!!

▶新型コロナウイルス特別委員会資料抜粋!!

(山形大学医学部附属病院 検査部 森兼部長より意見聴取資料)
ゼロコロナ → ウイズコロナ!

▶オミクロン株でみられる症状は?

☞ **発熱 66.6%、せき 41.6%**、全身のけん怠感 22.5%、頭痛 21.1%、せき以外の呼吸器症状 12.9%、吐き気やおう吐 2.7%、下痢 2.3%など



※国立感染症研究所「HER-SYS」のデータより 1/24 時点

▶重症でなくても死亡する?

☞ 国が定めた重症の基準は、①**ICU**で治療を受けている患者。②**人口呼吸器**または**ECMO**(体外膜酸素化装置)をつけている患者

☞ 基礎疾患(持病)が悪化し、重篤な状況になっても、国の基準で重症とはならないまま亡くなっていくケースも少なくない。○糖尿病の悪化→敗血症など

▶学校・保育施設でクラスターが発生した要因?

☞ これまで比較的感染しにくかった小児が感染しやすくなった。小児はマスク着用を守ることが難しい。だからといって簡単に閉められない(親が困る)

▶まん延防止等措置に対する評価について?

☞ 無駄だと思わないが、あまり効果はなかったと考える。政府による飲食店での会食による感染拡大を主に制御する措置だが、小児の集まる場が感染拡大の主な発生源であり、そこから家庭へ、そして高齢者施設へと広がって行ったとみるべき。

▶「コロナ克服・やまがた新生予算」として!!

【全国初】

○特定不妊治療費の医療保険適用(R4.4~)により生ずる自己負担の一部を支援など

【東北初】

○私立高校等の授業料等軽減支援の拡充(世帯収入約910万円以上の多子世帯への支援等)など

【新規・拡充】

- 保育、幼児教育、看護、介護等の施設従事者処遇改善
- AI マatchingシステム導入によるやまがたハッピーサポートセンターの結婚支援強化
- 市町村が取り組む消費喚起に資するプレミアム商品券等の発行事業への支援など

▶最終日に「常任委員会」等の所属変更!

県議会は3月17日の本会議で所属変更を行い、各委員会の正副委員長を互選しました。

令和4年度の常任委員会は、「厚生環境常任委員会」となり、「予算特別委員会」・「新型コロナウイルス感染症対策特別委員会」・「デジタル化・脱炭素社会対策特別委員会(委員長)」です。また、「山形県議会広報・広聴委員会」、「山形県都市計画審議会委員」となりました。

なお、毎年慣例となっている副議長には、自民党の加賀正和氏(尾花沢市)が選挙で選任されました。

▶山形県議会2月定例会 一般質問 2/28

庄内地方重要事業要望等、また、今冬の地吹雪によるスタック、庄内地域におけるコロナ感染対応、農業関係団体及びJA鶴岡の意見・要望、そして、現場での実態・調査等を踏まえて、2月28日に一般質問(県政クラブ)を行いました。



<質問項目>

- 1 コロナ感染拡大時における対応について
- 2 デジタル技術を活用した広報の推進について
- 3 広域的な道路交通網の拡充と課題について
- 4 雪に強い交通基盤の整備と雪道の安全対策について
- 5 厳しさを増す水田農業をめぐる環境への対応について
- 6 大豆の生産振興に向けた取組方向について
- 7 東北公益文科大学の公立化と同大学への期待などについて(※項目の6.7については山形新聞に掲載済み)

▶山形県議会定数等検討委員会の検討結果

次期一般選挙(令和5年4月)については、①総定数は現行通り(43人)、②選挙区は現行通り(17選挙区)、③選挙区別定数は現行通り(公職選挙法第15条第8項ただし書を適用することにより、議員一人当たりの人口の格差が縮小する)と山形県議会定数等検討委員会で決定いたしました。

▶庄内農業高校定員は当面2学級維持!!

9日に開催された文教常任委員会で、県教育委員会は、入学者が定員の3分の2に満たない状況が続いている同校については、入学定員を減らさずに1学年当たり**2学級(80人)**を維持する考えを示しました。学科の特殊性や交通事情など地域の実情を配慮することを定めています。



▶山形県教育長の任命 高橋広樹氏!!

令和4年3月31日に山形県教育長の菅間裕晃氏の任期が満了することから、その後任者に企業管理者の高橋広樹氏(64歳)が任命され、議案上程・採決されました。任期は令和7年3月31日までの予定です。

▶鶴岡市本町二丁目 一方通行解除!!

山形県警は、鶴岡警察署管内における、鶴岡市本町二丁目地内(通称:南銀座通り)の一方通行を、**令和4年6月14日(火)**に規制解除すると発表いたしました。

▶政務活動費の手引の改訂! 令和4年4月より

政務活動費の適切な使用が図られるよう、県条例等の改正を行いました。

改訂のポイントとして、①会派及び議員の説明責任並びに経理責任者の指導監督、②山形方式清算払い(事前審査・後交付)の導入、③人件費及び事務所費の適切な支出の確保、④定期的な研修会の実施。など

▶「議会政策提言書」を知事へ手交!!

山形県議会は、二元代表制の一翼を担い、県の意思を決定する議事機関としての機能、県行政執行の監視機能に加え、山形県の将来と県民の幸せを目指した県政の発展のため、議会政策提言を実施しています。

私が所属している「健康医療・女性若者活躍対策特別委員会」では、「**地域医療を担う医師の確保に向けた対策を求める意見書**」を提出し、3月16日に知事に政策提言書を手交いたしました。

▶議会レポートあとがき

ウクライナで続く紛争は、戦火から逃れるために多くの方が避難をされており、今後も危機的状況が続けば最大400万人が国外脱出を図ると見込まれています。

ロイター通信によると、民間人がとどまる市街地への無差別攻撃を強めています。ロシアは国際秩序の根幹を揺るがすものであり、私共も断じて受け入れられません。「一刻も早く平和が戻ってほしい」と願うところです。

なお、山形県議会では、在日ウクライナ大使館を通じ、人道支援のための支援金を贈呈いたしました。1議員1万円、合計40万円

